

国民健康保険証が更新されます

12月1日に国民健康保険証が更新されます。11月20日頃から、世帯ごとに郵送します。ご確認ください。

■保険証の色と配達方法

保険証(若草色か白茶色)の有効期限は、毎年11月30日です。12月1日からの新しい保険証(一般被保険者証はうす紫色、退職被保険者証は灰色)は簡易書留郵便で郵送します。

■配達内容物

内容物は、保険証、エイズ予防パンフレット、ジェネリック医薬品希望カード、保険証カバー、臓器提供意思表示欄保護シールの5点です。

■保険証が届かないと思ったら？

不在で保険証を受け取られなかった場合は、郵便局で12月5日頃まで保管されます。その後は国保健康課に戻ります。その他ご不明な点は下記までお問い合わせください。



一般被保険者証(縦 5.4cm×横 8.6cm)

【問合せ】 国保健康課(国保医療担当) ☎④8721 FAX④1792 kenko@city.kasai.lg.jp

国民年金保険料の収納業務を民間委託しています

日本年金機構は、国民年金保険料を納め忘れの方に対して、電話・文書・訪問などによる納付のご案内や免除等の申請手続きのご案内を、次の民間事業者へ委託しています。

■委託事業者 / (株)アイヴィジット (問合せ ☎ 0120-989-428)

■振り込み詐欺などにご注意下さい(納付書をお持ちでない方から、保険料をお預かりすることは決してありません)

委託事業者が電話により納付のご案内を行う場合は、お客様の納付状況を確認しながら、厚生労働省(日本年金機構)が発行する納付書により、最寄りの金融機関やコンビニエンスストアなどで保険料を納めていただくよう依頼します。このため、銀行の口座番号を指定し、ATMの操作により保険料の振り込みをお願いすることはありません。

委託事業者の「納付督促員」が訪問して保険料をお預かりする場合、身分証(納付督促員証明証)を提示し、厚生労働省(日本年金機構)が発行する納付書をお持ちの方に限り、保険料をお預かりすることが可能となっています。

【問合せ】 加古川年金事務所国民年金課 ☎079-427-4740 市民課 ☎④8720 FAX③8045 shimin@city.kasai.lg.jp

災害時要援護者避難支援計画に基づき要援護者台帳を整備します

阪神淡路大震災や佐用町の水害など、自然災害はいつ発生するかわかりません。災害発生時に弱い立場におかれる障害者や高齢者などの「災害時要援護者」の方々への支援のあり方が大きな課題となっています。

災害時の支援は、行政だけでは限界があり、近隣や地域の皆さまの助け合いによる共助の力がどうしても必要となります。これまで、福祉目的での調査は社会福祉協議会のもとで各町福祉委員(民生児童委員が兼務)のご協力を得て「福祉を高める運動」として実施されていましたが、防災目的のものは未整備でした。

今回、防災機関・自主防災組織への情報提供も目的に加えた「要援護者台帳」を、これまでの「福祉を高める運動」をベースとして再整備していくことになりました。

対象となる方に対しては、市の担当課より直接、調査票(災害時要援護者登録申請書)を郵送します。必要事項を記入の上、返送していただきます。(件数により訪問する場合があります。)

来年5月の福祉委員による「福祉を高める運動」調査時には、各戸訪問により台帳データを更新していきます。



【問合せ】 安全防災課 ☎④8751 FAX③1800 bosai@city.kasai.lg.jp

加西病院のコーナー

加西病院ホームページ <http://www.hospital.kasai.hyogo.jp>

『第4回加西病院市民フォーラム開催!』

■市民フォーラムの由来

9月30日、健康福祉会館にて『地域で守る病院医療』と題して第4回加西病院市民フォーラムを開催しました。本フォーラムは4年前、全国的に自治体病院の勤務医不足が広がる中、市民に加西病院の実情を発信し、市民の支援を得て加西病院が活力をもって存続できるように、という市民有志の発案で始まりました。その後フォーラムは、病院職員の努力により毎年開催を続けています。

■今回のフォーラムの眼目

今回のフォーラムの眼目は、市民に加西病院の良さをもっと知ってもらおうと云うことでした。これは、前回のフォーラムが病院の釈明の場となり、加西病院の良いところが市民に伝わらなかったというアンケートからでした。

市民にアピールしたい点は、①中規模病院では維持が難しい総合機能を有していること、②職員間の協力が良好で密な診療連携を実現していること、③前記二点は研修医が本院に集まる魅力となり病院が活性化していること、④コメディカル(医師・看護師以外の医療従事者)の士気が高く患者に寄り添う看護や医療が行えていること、⑤産婦人科・泌尿器科・眼科が一時休止したが医師招聘により再開できたこと(全国的にも稀)、などです。

今回120余名と寂しい市民参加でしたが、会場からは外来の待ち時間は病院の評判を落とすので工夫が欲しい、といった意見ができました。病院としては、専門医師を診療所で出来る外来に投入するよりも、病院でしか出来ない入院医療に投入する方が市民の役に立つと考えるのですが、ご意見は加西病院への応援メッセージと受け止めました。待ち時間に限らずサービス充実の要望はよく寄せられます。

■競争と市民支援

一般に接客業は、サービスを良くすると評判が上がって

客が集まり、その落とす金をサービスに再投資して更に客を集める、というサクセスストーリーが成立します。一方、競争に敗れた落ち目の店舗は損が大きくならないうちに整理されます。

しかし病院は、落ち目になれば閉めればよいサービス業と異なることは明らかです。病院経営は診療報酬制度に縛られた統制経済であり、サービスを良くする為に料金を上乗せすることは出来ません。9月28日の神戸新聞は、北播磨圏の5つの自治体病院が全て赤字決算だったことを伝えています。国の急性期医療施策は、病床削減して統合し、広域で大規模化することです。いきおい自治体病院間の勝ち残り競争は激化し、経営の良し悪しと医療者の得失が死命を制します。

こうした地域間のゼロサムゲームの中、医療を充実させ病院の評判を高め競争に勝ち残る上で、行政や市民からの財政援助が生きてきます。毎度お願いで恐縮の限りですが、加西病院では医療を向上させ、患者満足度を高めるために市民からのご寄付をお待ちしています。これまで、有志の方々に院内ボランティアの支援を頂いており、深く感謝するところです。院内ボランティア活動についてお聞きになりたい方は地域医療室に電話(☎④2200 担当山中)又は直接出向いてお問い合わせください。

(病院事業管理者・院長 山邊裕)



【写真】 第4回加西病院市民フォーラム
9月30日「地域で守る病院医療」と題して第4回加西病院市民フォーラムを健康福祉会館で開催しました。参加者は120名余りで、病院職員ばかり目につく寂しい市民フォーラムとなりました。

■市立加西病院より停電のお知らせ

加西病院の受変電設備更新工事のため、本館・東館で停電し、照明やエレベーターが停止します。市民の皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。

停電日時 / 11月21日(日)、11月27日(土)、12月4日(土)、12月11日(土) 時間はすべて13:00～17:00

問合せ先 / 市立加西病院用度管理課 ☎④2200

■防災マップをご確認下さい

加西市は防災マップを作成し平成19年3月に全戸配付し、現在、市ホームページにも掲載しています。各家庭でご覧いただき、災害時の対応について家族で話し合うなどして、ご活用下さい。

■市ホームページ(トップ) → (目的別スイッチ) 防災・犯罪 → 加西市防災マップ

問合せ先 / 安全防災課 ☎④8751 FAX③1800 bosai@city.kasai.lg.jp



市ホームページの防災マップ